

# 市民生活

図書館資料の  
取り扱い

## マナー向上についての取り組みは 引き続き効果的な呼びかけを行う



**中町けい議員(市民クラブ)**  
令和5年度における市内全図書館の廃棄資料のうち約7割が汚損・破損による廃棄とのことである。適正利用に関する利用者の意識をどう変えていけるかが重要と考えるが、更なるマナー向上について、市はどのように取り組んでいるのか。

**答** 本市の図書館では「本が泣いています」と題した図書館内の廃棄本の展示や、子どもたちから公募したポスターや標語の使用など、マナー向上に対する周知等を行ってきた。今後は、広報いちかわへの掲載も検討するほか、他市の事例も参考にしつつ、より効果的な呼びかけを行い、マナー向上に取り組んでいく。

# 一般質問

6月定例会では、22人の議員が一般質問を行いました。各議員の持ち時間は1人60分(答弁含む)です。ここでは、1人1項目を選び質問・答弁を要約し、分野ごとにまとめて掲載しました。

※6月定例会の一般質問は、6月5日に通告を締め切り、6月17日から5日間の日程で行いました。  
※2次元コードから一般質問の動画をYouTubeにてご覧いただけます。

# 市民生活

## 団体使用の更新手続き

### 提出書類や提出方法の見直しは 令和7年度に向けて見直しを進める

**石原みさ子議員(清風いちかわ)**

公民館を継続的に使用する団体が毎年行う使用者登録の更新手続きは、申請書類の簡略化や、紙提出以外の更新手続きなどを検討のほか、団体の会則、会員



名簿などを全て紙ベースで公民館の窓口へ提出することとされている。市民サービスマナー向上の観点から、提出書類の簡略化や、紙提出以外の更新手続きなどを見直しを進めているところである。

## AEDの整備状況

### 公共施設の屋外への設置は 学校施設など65カ所に設置予定

**丸金ゆきこ議員(チームいちかわ)**

市内のコンビニエンスストアにAEDが設置されたとのことだが、設置状況と導入された機種の種類を問



う。また、公共施設の屋外に設置することについての検討結果はどうなったのか。

**答** 市内に店舗を持つコンビニエンスストア事業者5社と協定を締結し、令和6年6月1日から市内110店舗にAEDを設置している。導入した機種は最新のオートショック機能や、AEDの稼働状況を遠隔監視する機能も備えている。公共施設では7月以降、学校施設を中心に建物の入口や体育館など65カ所に収納ボックスを設置し、屋外にAEDを設置予定である。

## 自動車図書館

### 利用者の要望の把握は アンケートを実施していく

**廣田徳子議員(日本共産党)**

本市では、市内の図書館から遠い地域の人などのために車で巡回する自動車図書館を運行しているが、積



載する本の数は限られており、利用者の趣味嗜好に合わない場合もあるのではないかと考える。そこで、利用者の要望を把握するため、アンケートを実施するなど、自動車図書館が魅力的な存在になるように努めていく。

## 援農ボランティア

### いちかわ援農隊の募集方法は 市公式ウェブサイトで随時受け付け

**沢田あきひと議員(市川維新の会)**

令和6年3月末から梨の花摘みボランティアが行われ、実施後のアンケートでは、実施後のアンケートでは、梨農家、ボランティア参



加者共に満足度が高かったとのことである。このような援農ボランティアの確保は重要と考えるが、本市の援農ボランティア団体では、いちかわ援農隊の活動内容と募集方法を問う。

**答** いちかわ援農隊は農業従事者の要望に応じ、圃場の草刈りや営農施設の片付けなどの軽作業を行っている。募集については、市公式ウェブサイト上で随時受け付けており、今後も市公式ウェブサイトのほか、広報いちかわに掲載するなど広く募集したいと考えている。

# 公園

## 国分尼寺跡公園

### 看板設置について市の見解は 固定式看板の効果を踏まえ検討

**門田直人議員(れいわ新選組)**

国分尼寺跡公園には、近隣住民からの苦情に対応するため、市が設置した注



意喚起の看板が65枚もある。状況に対し、市の見解を問う。

**答** 当該公園は数年前からボール遊びなどに対する苦情が多数寄せられたため、その都度簡易的な看板を設置し注意喚起を行ってきた。令和6年5月にボール遊びのルールを集約した固定式の看板を設置したため、今後はこの看板の効果を踏まえ、公園内の看板の数を適切に見直ししていく。

# 保健・福祉

## 新型コロナワクチン

### 接種による死亡認定数は何人か 6件の申請のうち認定は1件

**太田文之議員(参政党)**

本市において、予防接種健康被害救済制度に係る、新型コロナワクチン接種による死亡認定数と、新型コ



ロナワクチン以外のワクチン接種による死亡認定数はそれぞれ何人か。また、死亡認定者に対し、市はどのような対応をしているのか。

**答** 令和6年4月末現在、本市における新型コロナワクチン接種に係る死亡事例として6件の申請があり、審査結果は、認定が1件、否認が2件、審査待ちが3件である。その他のワクチン接種については、平成6年以降、該当する死亡事例はない。当該死亡認定者へは、健康被害救済制度に基づく給付を行っている。

## 軟骨伝導イヤホン

### 本市の相談窓口を導入できないか 引き続き研究していく

**川畑いつこ議員(公明党)**

難聴で聞き取りづらい人のために、従来の骨伝導より痛みや音漏れが少ない軟骨伝導イヤホンが、多くの



自治体や銀行、警察署の窓口に取り入れられている。利用者からは声がクリアに聞こえて良かったなど好評が続き、また、高齢者にやさしい窓口となるよう、軟骨伝導イヤホン導入も含め、引き続き研究していく。

# 防災

## 水難事故防止

### 人命救助のデモンストラ のような啓発を行っているのか

**野口じゅん議員(チームいちかわ)**

江戸川ではこれまで繰り返し水難事故が発生している。本市が進める水辺のま



ちづくりにおいては、市民に水辺の魅力を感じてもらい、水辺に親しんでもらうと同時に、水の危険性も学んでもらうことができるのではないかと考えるが、水難事故防止のためにどのような啓発を行っているのか。

**答** ウォータースタインいちかわでは、人命救助のデモンストラクションなどにより啓発を行っている。また、水辺のまちづくりのイベントでは、河川の知識啓発のためのパネル展示を行っており、今後は、河川の魅力や危険性とともに、その危険性もしっかり伝えていく。